

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01020010

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	21	情報通信網の整備・充実	事業優先度	A		
単位施策	1	地域情報化の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町地域情報化計画策定事業					
事業期間	平成28年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	地域情報化計画の策定					
事業目標	5カ年間					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	1 総務課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	ITが持つ可能性を最大限に活用するための将来展望として策定された、「雄武町地域情報化計画」が終期を向えることから、新たに5カ年間の情報化計画を策定する。				雄武町地域情報化計画策定に係る検討・調査・協議	雄武町地域情報化計画策定
計 画 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値			検討・調査・協議	計画策定
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		備考欄				

事業名	雄武町地域情報化計画策定事業	評価者	管理職 職氏名	総務課長	佐竹 邦夫
		評価者	作成者 職氏名	情報統計係長	内宮 真希

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	地域情報化の推進	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	計画数								
【抱える課題やニーズは】	策定済みの計画が平成29年度をもって終期を迎える	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる町の実現	①	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1計画</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1計画</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	1計画	実績値	1計画	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	1計画										
実績値	1計画										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	地域情報化計画の策定	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成28年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	策定に係る内容の調査	計画策定に関する他市町村の動向を調査把握し、新たな策定内容の参考とする。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	現行計画は策定当時の政権下で進められたものであり、地域情報化の推進に必要なものであり、町の事業として妥当である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	充実した調査を行うことは、新たな計画を策定するにあたり有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	ゼロ予算事業であり、コストは発生していない。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	地域情報化計画実施に向けたものであり、受益者負担はふさわしくない。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
新たな地域情報化計画策定に向け、内容を充実したものにすため他町村の計画について調査を行い、次年度計画の参考とするため情報の整理を行った。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
次年度に計画されている地域情報化計画の策定に向け、調査した内容を精査し、新たな計画の策定に向け準備を進める。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止